一般部参考手本

二月

〈実用部〉

暮しは分が大事です
気楽が何より薬です
そねむ心は自分より
以外のものは傷つけぬ
氏名

〈鑑賞部〉

めぐり逢ひて
見しや　それとも　わかぬ間に
雲がくれにし　夜半の月かな
なまえ

めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に
雲がくれにしよはの月かな

〈臨書部〉　空海　風信帖

如掲雲霧兼
恵止観妙門頂戴

〈臨書部〉＝如掲雲霧。兼／恵止観妙門。頂戴

学生部参考手本

三月十日締め切り

〈中学〉〈入門〉

石鹸は生きもののように
尾鰭を振って水の中を泳ぎ
あっという間に深處に
落ち込んで行って姿を消した
中学　年　名前

〈小六〉

きびしい北国の冬、
自然とのたたかい
雪にうもれた家
雪おろしに精を出す人
小六　名前

〈小五〉

青い空に
真っ白な富士山
湖はこおりつき
きれいな冬景色
小五　名前

〈小四〉

朝日にかがやく
新雪ふんで
きょうも行こうよ
あの山こえて
小四　名前

〈小三〉

こおりのシンバル
こがらしのふえ音
冬のこうしん
小三　名前

〈小二〉

け糸のマフラーと
手ぶくろ
あったかいね
小二　名前

〈小一〉

つららがあった
一ぽん、二ほん
三ぼん　みつけた
小一　名まえ

〈幼児〉

ゆうえんち
ようなまえ